

# 岩木川ダム 統管だより

046号  
2021年  
2月26日



乳穂ヶ滝ライトアップとコラボ！

## “津軽ダム”ライトアップを実施

令和3年2月10日（水）から2月14日（日）と、2月19日（金）から2月23日（火）までの計10日間、『“津軽ダム”冬のライトアップ2021』を行いました。

例年2月の第3日曜日に西目屋村で行われている乳穂ヶ滝氷祭は中止となってしまいましたが、密になることの無いライトアップは実施するとの発表を受け、津軽ダムも例年通り、村とタイアップしてのダムライトアップの実施としました。

世界自然遺産白神山地の玄関口である津軽ダムで、冷たい空気を胸いっぱい吸って深呼吸することによりリフレッシュしませんか？と謳った今回のライトアップは、3年ぶりの結氷となりそうだった乳穂ヶ滝の注目度の高さも相まって、氷点

下の冷え込みにもかかわらず多くの方にお越しいただきました。

津軽白神湖



▲乳穂ヶ滝の氷柱は、もうすぐ結氷というところまで2度伸びましたが、いずれも暖気に見舞われ崩落してしまいました  
(令和3年2月9日撮影)

# 津軽くろいし みんなの雪だるま2021

平成12年から、黒石市民に愛されているイベント“津軽くろいし みんなの雪だるま”が今年も黒石商工会議所の主催で実施されました。

毎年、浅瀬石川ダム直下流『思い出の広場』に浅瀬石川ダム維持工事会社が雪だるまを製作・参加しており、写真で審査する「私の雪だるまコンテスト」において、昨年は黒石市長賞を受賞しました。

今年も同イベントを応援するため、浅瀬石川ダム連絡協議会（株式会社桜庭建設、アサヒ建設株式会社、株式会社村上組）が大型雪像を製作しました。完成した雪像は、堤体の迫力に負けない『大型雪だるま』です！

遊び心満載のこちらの雪だるまは、向かって左側の階段を上ると雪の滑り台を楽しめたり、雪だるまの胴体部分の入り口を入ると、2019年と2020年の雪像パネルをご覧いただくことができます。

通常は閉じている発電所ゲート内での雪像設置、オリフィスゲートからの放流も間近で楽しむことができますなど今年の雪だるまは例年とはひと味違います。

また、毎年“津軽伝承工芸館”で行われている冬のイベント『黒石温泉郷 雪の降るさと』は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりましたが、祭り期間に実施している雪だるま製作は行われ、地域全体で地元を盛り上げようと一丸となっている様子が見受けられました。

雪だるまコンテストの今年の入賞者は、3月1日に発表されます。今年の結果に乞うご期待！



▲堤体のすぐそばに作られた巨大雪だるま！



▲雪だるまの中にも仕掛けがあります



▲浅瀬石川ダム下流の袋地区にある津軽伝承工芸館では、様々な雪だるまが並びました



▲ライトアップされた雪像“プナッキー”



▲みんなの願い「コロナにまけるな」！

津軽ダム関連工事連絡協議会（株式会社村上組、株式会社小山田建設）は、「津軽ダム冬のライトアップ2021」に合わせ、津軽ダムパークに雪像を製作、ライトアップを実施しました。白神山地マスコットキャラクターのプナッキーの側面には「コロナにまけるな」のメッセージが入っており、ライトアップを見に訪れた方々を楽しませていました。



# SHIRAKAMI PEAKS IN NISHIMEYA

JAN. 10-11, 2021

## 白神ピークス フード&クラフトフェスティバル



西目屋村の食と文化に触れることが出来るイベント『白神ピークス フード&クラフトフェスティバル』が令和3年1月10日(日)、11日(月・祝)の2日間、「道の駅津軽白神ビーチにしめや」と「白神山地ビジターセンター」を会場に行われました。このイベントは『白神山地と人々の長い歴史の中で、食べられ、使われてきたものが、あるものは昔のまま、あるものは研ぎすまされ、あるものは再解釈されて混在する西目屋村』の逸品がそろうフェスティバルとして“道の駅津軽白神活性化協議会”の主催で行われたものです。

会場入口では、来客の検温・手指消毒・連絡先と体調等の記入や、チェック済みのリストバンドの配布が行われ、新型コロナウイルス感染症対策が厳重に行われていました。

開催初日の10日(日)は、青空が覗いたり雪がちらついたり不安定な空模様でしたが、家族連れなどがひっきりなしに訪れ、会場を賑わせていました。訪れた人々は、今回初登場となるモンベルオリジナル製品(こぎんタンブラー)、白神そばのそば打ち体験や白神山地の水で抽出した水出しコーヒーの味き等、西目屋村ならではの味や逸品を楽しんでいるようでした。

また、道の駅大型バス駐車場に設けられた雪のすべり台などでは、スノーアクティビティを楽しむ子供たちの歓声が響き、コロナ禍の沈んだ空気感を明るく彩っているようでした。



▲「白神炭工房 炭蔵」見学&目屋炭(りんご炭)を使用した盆栽の制作体験で作られた作品

# 現場安全パトロールを実施 ～庁舎増築工事～

令和3年2月9日(火)、岩木川ダム統合管理事務所事故防止対策委員会の活動の一環として『岩木川ダム統管（津軽ダム）庁舎増築工事』（受注者：株式会社小山田建設）の現場安全パトロールを実施しました。

現場事務所や施工現場をまわり、安全に工事が進められているか、快適な職場環境が確保されているかなどを確認・点検し、点検後には、好事例や指摘事項について意見交換を行い、改めて安全に対する意識を高めました。

意見交換の最後に、当事務所の長内所長は、「抜き打ちの安全パトロールだったのでびっくりしたかもしれないが、普段の作業に不安全行動や不安定状態がないか確認が出来た。残り少ない工期だが、事故の無いよう安全第一で作業を進めていってほしい。」と講評しました。

また、点検を受けた株式会社小山田建設の現場代理人は、「目の届かないところまで見ていただきありがとうございます。これからも安全と品質に配慮しながら、残りの工期を全うしていきたい。」と述べられました。



◆現場代理人から工事概要の説明を受けてパトロールを開始します



◆廃資材もしっかりと分別されています



◆作業足場も実際に歩いて通路の安全が確保されているかなどをチェック！



◆点検後の意見交換の様子

## 浅瀬石川ダム・津軽ダム 英語版 リーフレット が完成しました！

浅瀬石川ダム・津軽ダムの簡易概要が英語になりました！外国のお友達にも、英語の勉強にも！？

こちらの英語版リーフレットは、岩木川ダム統合管理事務所ホームページにて公開中です！



浅瀬石川ダムイメージキャラクター あっちゃんといび



津軽ダムイメージキャラクター ペッカ一君

検索

岩木川ダム統合管理事務所

### 編集後記

コロナ禍でダム立地の黒石市、西目屋村ともに冬のイベントは中止となってしまいました。しかし、今回の取材を通して、地域の皆様が、訪れた方を楽しませようと奮闘している様子がひしひしと伝わりました。『雪の降るさと』が中止になっても老若男女に楽しんでいただける題材で雪だるまを製作、乳穂ヶ滝氷祭が中止になってもライトアップを実施、浅瀬石川ダムと津軽ダムの連絡協議会による雪像製作と、少しでも皆様に元気が届くようにと沢山の方が頑張ってくれています。

耐えるところは耐えつつ、コロナ禍の今だから出来ることを探さないといけませんね☆ (対馬)

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422  
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平  
字寒沢138-2  
TEL 0172-85-3035  
FAX 0172-85-3061



(ホームページ)



(Twitter)

岩木川ダム統合管理事務所  
ホームページアドレス  
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>  
公式Twitter @mlit\_iwakito